

## 2. 流域及び河川の自然環境

### 2.1 流域の自然環境

#### 2.1.1 環境区分

日野川水系の自然環境は、河道特性、地形特性及び生物の出現状況等を勘察すると、中国山地に属する標高 1,000m 級の山地に源を発し、約 5,000ha の景勝地を誇る奥日野県立自然公園を北東に流れ中流部よりも緩い勾配で穿入蛇行する区間である上流部、遠景に控える大山の雄大な景観と調和し扇状地性氾濫平野を流れる中流部、三角州性低地を流れ日本海に注ぐ下流部とに分けられる。



図 2.1.1 日野川の河川区分

表 2.1.1 河川区分と自然環境

区分	上流部	中流部	下流部
区間	源流 ～野上川合流付近	野上川合流付近 ～車尾床止下流	車尾床止下流～河口
地形	山地	扇状地	平地
特性	瀬、淵、溪流、穿入蛇行	瀬、砂礫河原	感潮域
河床材料	礫、粗砂、砂礫	細砂、砂礫	細砂、砂
勾配	約 1/130	約 1/190	約 1/620
植物相	ミズナラ、ブナ、アカマツ、ツルヨシ、オギ、ススキ、キシツジ等	ヨシ、ツルヨシ、メダケ、カワヂシャ、ナガミノツルキケマン、ミヤコグサ等	ヨシ、カワラヨモギ、カワヂシャ、カワラハハコ、コウボウムギ等
動物相	オシドリ、カジカガエル、オオサンショウウオ、アユ、サクラマス、ウグイ、サケ、ヤマメ、イワナ、スナヤツメ、アカザ、タカハヤ、ゴギ、カワムツ等	イカルチドリ、コハクチヨウ、チュウサギ、アユ、スナヤツメ、サクラマス、サケ、ウグイ等	コアジサシ、オオヨシキリ、カイツブリ、トモエガモ、ミコアイサ、マハゼ、シロウオ、カマキリ、アユ、サクラマス、サケ等

## 2.1.2 自然環境の概要

源流部から野上川合流付近までの上流部では、中国山地のほぼ中央に位置する船通山、道後山、比婆山、吾妻山などにその南に位置する帝釈峠を加えた比婆道後帝釈国定公園の一部を含み、船通山と道後山に接している。船通山や道後山はゆるやかな高原状で、本来の山々の森林は砂鉄の精錬のため永年にわたって伐採されてきたことにより多くは草原となっている。

船通山の山麓の渓谷沿いはサワグルミやトチノキなどの落葉広葉樹林が発達し、中腹部ではミズナラやブナ林が広がるほかコミネカエデやクロソヨゴなどの亜高木・低木が多い。「天狗の土俵場」と呼ばれる神事が行なわれる船通山の山頂部は草原となり、春先にはカタクリの群生が見られる。山頂近くの傾斜約 20 度の斜面に生育するイチイは、1957 年に国の天然記念物に指定された巨木で、樹高は約 5m と低く胸高直径も約 90cm 程度であるが、斜面下方に向かって扇状に広がる枝葉は 22m にも達し、樹齢は 1000 年程度と推定されている。道後山の上部の斜面にはイチイが生育しており、山頂付近の低木林・草原の大部分はチシマザサ群落が発達し、その中にイヌツゲなどの低木が生育しており、放牧地としても利用されている。稜線鞍部の谷状地には人為的に作られた池が湿原化したものと言われている湿原が存在し、地表面を覆うミズゴケの中にキセルアザミ（マアザミ）の群落やエンコウソウ、バイケイソウ、モウセンゴケなどの湿原群落が発達している。

生山付近の山地は花崗岩が露岩するアカマツ自然林となっている。県内各地の花崗岩地を中心に発達する露岩崖地のアカマツ自然林と比較しても、生山付近のアカマツ自然林は最大規模をもち地形的極相林として貴重な存在である。



道後山山頂付近の景観



船通山のカタクリ

鳥類としては、日野町では美しい羽を持つオシドリが秋から春先にかけて数多く飛来・越冬し、日野町根雨の観察小屋では多い時には 800 羽以上の姿を見ることができる。初夏には清流の象徴であるカジカガエルの鳴き声が聞かれるほか、国の特別天然記念物のオオサンショウウオが生息・繁殖している。



生山のアカマツ自然林

魚類ではゴギ・ヤマメ等の渓流魚やアカザなどが生息・繁殖する。

また、大山<sup>だいせん</sup>隠岐<sup>おき</sup>国立公園の一角を占める中国地方最高峰の大山（1,709m）は、その広大な裾野に広がる山麓のほぼ全てが牧野や植林など的人為的代償植生であるアカマツ林である。大山寺あたりから山側の自然林の大半は、日本海型気候の影響のもとで発達する冷温帯落葉広葉樹林の

ブナ天然林であり、低地に行くに従ってミズナラ、シデ等の多様な植生が見られる。標高 1,300m 付近から上部は、冬季の季節風、積雪などの影響により本州で見られる亜高山帯針葉樹林ではなく落葉低木帯となっている。特異な低木林として弥山山頂緩斜面の国の特別天然記念物に指定されているキャラボク、烏ヶ山のみに残存する氷河期遺存植物群生のミヤマハンノキ林、微小低木群落で草本群落のように見えるコメバツガザクラ - ツガザクラ群落も重要である。

鳥類については、生態系の頂点に位置しており環境省レッドリストに掲載されている絶滅危惧 IB 類のイヌワシ、クマタカ等の大型猛禽類や同じく絶滅危惧 B 類のヤイロチョウ等多くの種の生息・繁殖が確認されている。また、山頂付近には主に本州中部以北で繁殖するカヤクグリやイワヒバリ等が局所的に生息・繁殖している。



大山のブナ林



大山山頂部のキャラボク林

野上川合流付近から車尾床止下流までの中流部では、扇状地性氾濫平野が広がり、日野川周辺には豊かな水ときれいな安定したせせらぎ等の多様な自然環境が存在する水田や小川等が多く存在しており、ゲンジボタル等の動植物が生育・生息・繁殖している。河道内には、オギ群落やヤナギ等の河畔林が広く発達しており、砂州のやや湿った場所ではカワヂシャやナガミノツルキケマンなどが生育している。また、ヨシやツルヨシ等が繁茂する水際の砂泥河床では、スナヤツメ等の魚類が生息・繁殖している。

車尾床止下流から河口までの下流部は、三角州性低地となっている。河口砂州では砂丘植物であるコウボウムギが生育し、夏鳥として渡ってくるコアジサシが営巣している。河口付近の中州などのヨシ帯ではオオヨシキリなどの数多くの鳥類が生息・繁殖している。



ナガミノツルキケマン



カワヂシャ



コウボウムギ

## 2.2 河川及び周辺の自然環境

### 2.2.1 上流部【源流～野上川合流付近】

上流部は、流域の大半を山林が占めており、河道においてもミズナラ等の河畔林が水面を覆うように生育し、水しぶきを上げて流れる美しい渓流景観を呈する区間や山麓の緑と日野川の水面がほどよく調和した流れとなっており、穿入蛇行の渓谷では奇岩が変化に富んだ河川景観を見せている。増水時水位と同程度の高さの岩場では、初夏には鮮やかなピンク色のキシツツジの群生が見られ、カワラハンノキなどの点在的な小群落も見られる。連続する瀬・淵の間に形成している中州の水際にはツルヨシ群落、やや比高の高いところにはオギ群落がみられる。



日野川のキシツツジ群落



日野川の源流

鳥類としては、11月～3月の冬期には羽の美しいオシドリが飛来し、日野町のオシドリ観測小屋では多い時で800羽以上の姿を間近で見ることができる。

魚類としては、河畔林の木陰の淵には、冷水を好むヤマメやタカハヤが生息・繁殖しており、流れの速い瀬にはゴギやイワナ等の渓流魚が生息・繁殖している。イワナの一種であるゴギは、中国山地の一部の上流域のみに生息し、日野川がゴギの生息分布の東限にあたる。上流部の瀬は、夏季にはアユ釣りの好漁場としても知られており、両側回遊魚であるアユが生息するとともにアカザが生息・繁殖し、やや緩やかな流れのところではタカハヤとともにカワムツが生息・繁殖している。



ゴギ



ヤマメ

両生類としては、国の特別天然記念物として指定されているオオサンショウウオが生息・繁殖する。なお、オオサンショウウオは、中流部の広い範囲でも確認されており、上流のみならず中流でも生息・繁殖していると考えられる。



オオサンショウウオ

昆虫類としては、水中で暮らす期間が長く原始的な特性を持つムカシトンボやムカシヤンマなどが生育・繁殖している。

### 2.2.2 中流部【野上川合流付近～車尾床止下流付近】

中流部は扇状地性の広々とした流れで、遠景に控える大山の雄大な景観と調和した自然豊かな河川景観となっている。河道内には砂礫性の中州が存在し、イカルチドリのような砂礫地で生息・繁殖する生物にとって貴重な環境となっている。また、中州のやや湿ったところではカワチシャやナガミノツルキケマンなどの重要な種が生育している。



大山

鳥類としては、中州などに繁茂したヤナギ等の河畔林ではチュウサギ等が営巣しており、日野川堰の上流の湛水域ではコハクチョウなどが冬季に飛来し、越冬している。

魚類としては、平瀬や早瀬の石の下ではアカザ、ヨシやツルヨシ等が繁茂する水際植生の豊富な砂泥河床にはスナヤツメ等の魚類が生息・繁殖している。

また、河口から 13.5km 付近の右岸に合流する大江川は、大山を水源とした低水温の流水を本川に注いでいることから、大江川合流点付近の日野川ではヤマメ等の冷水域を好む魚類も確認されている。そのほか、伯耆橋より上流の周辺の山林や河畔林との連続性の高い河原では、初夏の繁殖期には美しい声で鳴く清流の象徴であるカジカガエルが生息・繁殖している。



カジカガエル

支川法勝寺川は、流送土砂により流域内で最も肥沃な平地部を形成しており、緩やかな流れの砂底は、環境省レッドリストの絶滅危惧 IB として指定され地域個体群としても重要である二枚貝を産卵床とするアカヒレタビラやヨコミゾドロムシ等の生息環境となっている。



スナヤツメ



アカヒレタビラ

### 2.2.3 下流部【車尾床止下流付近～河口】

河口砂州では砂丘植物であるコウボウムギが生育し、鳥取県内ではこの砂州と天神川下流河口付近の砂浜・中州でしか生息が確認されていないコアジサシが営巣している。また、中州のヨシなどの抽水植物群落は、魚の稚仔魚の生息場所やオオヨシキリ等の鳥類の重要な生息・繁殖環境となっている。特に、下流部の中州は人や小動物が侵入できないことから、鳥類にとっての重要な生息・繁殖環境となっている。また、感潮域はミコアイサ、トモエガモ等の多くの水鳥の越冬地となっている。

魚類としては、アユやサケ等の回遊魚が見られ、感潮域直上流の瀬である車尾床止下流の瀬は、日野川におけるアユの産卵場となっている。感潮域では、マハゼやボラ等の汽水魚が生息・繁殖し、シロウオやカマキリなどが遡上・降河している。



コアジサシ



ミコアイサ



河口砂州

### 2.2.4 日野川における重要な種及び群落

既存資料から整理した日野川水系とその周辺に生息・生育する動植物のうち、法令や国、レッドデータブックにより絶滅のおそれのある種として指定を受けている種を重要な種と選定した。重要な動植物の選定根拠を表 2.2.1 に示す。

既存資料による動植物調査結果から選定した重要な種の一覧を分類ごとに表 2.2.3～表 2.2.9 に示す。鳥類 22 種、爬虫類 2 種、両生類 4 種、魚種 12 種、昆虫類 9 種、底生物 11 種、植物 8 種の重要な種が確認された。

表 2.2.1 重要な種の選定根拠

天然／文化財保護法
特天：国指定の特別天然記念物
天：国、都道府県、市区町村指定の天然記念物
保存法／絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律
国内：国内希少野生動植物種
国際：国際希少野生動植物種
国RL／レッドリストの見直しについて（環境省、2006-2007年）
環CR+EN：絶滅危惧I類
環CR：絶滅危惧IA類
環EN：絶滅危惧IB類
環VU：絶滅危惧II類
環NT：準絶滅危惧
環DD：情報不足
県RDB／レッドデータブック とっとり（鳥取県庁公園自然課、2003年）
県CR：絶滅危惧IA類
県EN：絶滅危惧IB類
県VU：絶滅危惧II類
県NT：準絶滅危惧
県DD：情報不足
県OT：その他保護上重要な種
注）その他保護上重要な種とは、生育基盤は比較的安定しているが、生育地が限定されており、県内に分布限界等が存在し、保護上重要度が高いと考えられるもの。
県条例／鳥取県希少野生動物の保護に関する条例
県希少：鳥取県希少野生動物の保護に関する条例による希少野生動物の種
その他以下の指定区分も整理した（鳥類・昆虫）
自然：「第1回緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査対象種」環境庁指定種
重要：「第2回緑の国勢調査」における「日本の重要な昆虫」環境庁指定種

なお注目種の抽出については、「重要な種」のほかに、地域を特徴づける生態系の視点を踏まえて行なう。地域を特徴づける生態系については、環境影響評価法の考え方等を参考にし、生態系の上位に位置する「上位性」、生態系の特徴をよくあらわす「典型性」、及び特殊な環境等を指標する「特殊性」などの視点から整理する。ここで、先に整理した重要な種等についての考え方も含め、注目種等の視点、選定の留意点を以下に示す。

表 2.2.2 注目種等の視点及び選定の留意点

視点	選定の留意点
重要性	日野川で生息・生育・繁殖する生物種のうち、学術上または希少性の観点から重要な種が該当する。選定基準としては環境省から公表されている最新のレッドリスト、高知県レッドデータブック等を用いる。次表に示す環境要素と注目種等については、確認位置がわかっている種を選定する。
上位性	日野川で生息・生育・繁殖する生物種食物連鎖の頂点に位置する高次の捕食者で、猛禽類や、魚食性の鳥類および大型魚類などを選定する。一般に個体数の変動があまり大きくない種であることが多い。
典型性	日野川において典型的と考えられる河川環境に依存する動植物種で、その生物種等の保全を追求することにより日野川の生物多様性の保全に貢献すると考えられるものが該当する。具体的な基準としては、日野川において設定された環境区分の中で面積比が大きい植物群落および確認個体数の多い生物種、もしくは生物群集を選定する。
特殊性	日野川で見られる河川環境のうち、分布範囲が限られているため典型性では把握しにくい特殊な環境で生息・生育・繁殖する生物種を選定する。
移動性	日野川の広範囲にわたって移動する動物であり、遡上降河の範囲が広く、河川と海域を行き来するような回遊性の魚類および甲殻類を選定する。

表 2.2.3 重要な種（鳥類）

No.	目名	科名	種名	天然	保存法	国RL	県RDB	県条例
1	コウノトリ	サギ	ササゴイ				県NT	
2			チュウサギ			環NT	県NT	
3			カラシラサギ			環NT		
4	カモ	カモ	マガン	国天		環NT	県NT	
5			オオハクチョウ				県VU	県希少
6			コハクチョウ				県NT	
7			オシドリ			環DD	県NT	
8			トモエガモ			環VU	県VU	県希少
9			ヨシガモ				県NT	
10			ミコアイサ				県NT	
11	タカ	タカ	ミサゴ			環NT	県NT	
12			ハチクマ			環NT	県NT	
13			オオタカ		国内	環NT	県VU	県希少
14			ハイタカ			環NT	県NT	
15			ノスリ				県NT	
16		ハヤブサ	ハヤブサ		国内	環VU	県VU	
17	チドリ	チドリ	イカルチドリ				県NT	
18			タゲリ				県NT	
19		カモメ	コアジサシ		国際	環VU	県CR+EN	県希少
20	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ				県NT	
21			カワセミ				県NT	
22	スズメ	ウグイス	セッカ				県NT	

出典：平成 17 年度 日野川水系鳥類調査

表 2.2.4 重要な種（爬虫類）

	目名	科名	種名	天然	保存法	国RL	県RDB	県条例
1	カメ	スッポン	スッポン			環DD	県DD	
2	ヘビ	ヘビ	シロマダラ				県DD	

出典：平成 15 年度 日野川水系両生類等調査

表 2.2.5 重要な種（両生類）

	目名	科名	種名	天然	保存法	国RL	県RDB	県条例
1	サンショウウオ	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ	特天	国際	環VU	県VU	県希少
2		イモリ	イモリ				県OT	
3	カエル	アカガエル	ツチガエル				県DD	
4		アオガエル	カジカガエル				県OT	

出典：平成 15 年度 日野川水系両生類等調査

表 2.2.6 重要な種（魚類）

	目名	科名	種名	天然	保存法	国RL	県RDB	県条例
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ			環VU	県VU	県希少
2	コイ	コイ	ヤリタナゴ			環NT	県NT	
3			アカヒレタビラ			環境EN	県CR+EN	県希少
4			ドジョウ	スジシマドジョウ小型種点小型			環EN	県NT
5	ナマズ	アカザ	アカザ			環VU	県CR+EN	県希少
6	サケ	サケ	ヤマメ			環NT	県NT	
7			アマゴ			環NT		
8	ダツ	メダカ	メダカ			環VU	県VU	県希少
9	カサゴ	カジカ	カマキリ			環VU	県NT	
10	スズキ	スズキ	オヤニラミ			環VU	県DD	
11		ハゼ	シロウオ			環VU		
12			オオヨシノボリ				県NT	

出典：平成 16 年度 日野川水系魚介類・底生動物調査

- 注) ・スジシマドジョウ小型種点小型は、地方種族を含めた分類が定まっていないことから、レッドデータブックとっとり及びレッドリストでは、スジシマドジョウ小型種山陰型として記載されている。  
 ・アマゴは移入種である。

表 2.2.7 重要な種（昆虫類）

	目名	科名	種名	天然	保存法	国RL	県RDB	県条例
1	トンボ	イトトンボ	アオモンイトトンボ				県NT	
2		カワトンボ	アオハダトンボ				県NT	
3			オオカワトンボ				県OT	
4	バッタ	バッタ	ショウリョウバッタモドキ				県DD	
5		ヒシバッタ	トゲヒシバッタ				県NT	
6	カメムシ	コオイムシ	タガメ			環VU	県VU	県希少
7	ハチ	ハキリバチ	キヌゲハキリバチ				県NT	
8	チョウ	セセリチョウ	ギンイチモンジセセリ			環NT	県NT	
9		シジミチョウ	シルビアシジミ			環CR+EN	県CR+EN	県希少

出典：平成 14 年度 日野川水系昆虫类等調査

表 2.2.8 重要な種（底生動物）

	綱名	目名	科名	種名	天然	保存法	国RL	県RDB
1	マキガイ	アマオブネガイ	アマオブネガイ	イシマキガイ				県NT
2		原始紐舌	タニシ	オオタニシ			環NT	県NT
3		基眼	モノアラガイ	モノアラガイ			環NT	県NT
4		柄眼	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ			環NT	
5	ニマイガイ	イシガイ	イシガイ	ドブガイ				県NT
6		マルスダレガイ	シジミ	ヤマトシジミ			環NT	県DD
7	昆虫	トンボ	カワトンボ	ニシカワトンボ				県OT
8				オオカワトンボ				県OT
9			サナエトンボ	ホンサナエ				県NT
10				アオサナエ				県NT
11		コウチュウ	ヒメドロムシ	ヨコミゾドロムシ			環VU	県CR+EN

出典：平成 16 年度 日野川水系魚介類・底生動物調査

表 2.2.9 重要な種（植物）

	科名	種名	天然	保存法	国RL	県RDB	県条例
1	カバノキ	カワラハンノキ				県VU	県希少
2	アカザ	オカヒジキ				県NT	
3	ケシ	ナガミノツルキケマン			環NT		
4	マンサク	アテツマンサク			環NT	県OT	
5	バラ	シャリンバイ				県NT	
6	マメ	イヌハギ			環NT	県VU	県希少
7	ゴマノハグサ	カワヂシャ			環NT		
8	カヤツリグサ	ウキヤガラ				県NT	

出典：平成 19 年度 日野川水系河川植物調査

## 2.2.5 特定植物群落

環境省の自然環境保全基礎調査による日野川流域内の特定植物群落をみると、別表に示す 16 群落が存在している。その内訳は、神社の社叢<sup>しゃそう</sup>が 6 件と最も多く、次いで大山隠岐国立公園内に生育するものが 3 件となっており、これらだけで流域内の特定植物群落の半分以上を占めている。

なお、日野川に直接関わる特定植物群落としては「黒坂のキシツツジ群落」が挙げられる他、一次支川の石見川に沿って「石霞溪のアカマツ林」が存在している。

表 2.2.10 日野川流域の特定植物群落一覧表

No.	選定 回次	名 称	所在・市郡	所在・町村	位 置	選 定 基 準	相 観 区 分	面積(ha)
1	2	大山山頂部の自然草地植生	西伯郡	大山町	大山彌山山頂部	自然林, 特殊立地, 貴重な 個体群	植生一般	20
2	2	大山の山頂部付近の自然低木林	西伯郡	大山町	大山彌山山頂部	自然林, 特殊立地, 貴重な 個体群	亜寒帯植生	不明
3	2	金毘羅神社社叢	日野郡	日野町	根雨町裏山根雨神社奥宮	自然林, 郷土景観, 貴重な 個体群	暖温帯常緑 広葉高木林	0.5
4	2	日野町秋縄のケヤキ林	日野郡	日野町	秋縄小学校横路真住川支流左 岸急斜面	自然林, 乱獲のおそれ, 貴 重な個体群	暖温帯夏緑 広葉高木林	1
5	2	別所のコナラ・ソヨコ林	日野郡	日野町	別所	植栽, 貴重な個体群	暖温帯夏緑 広葉高木林	1
6	2	石霞溪のアカマツ林	日野郡	日南町	日南町生山付近日野川沿いの 花崗岩地	特殊立地, 植栽	冷温帯常緑 針葉高木林	5
7	2	三栄のケヤキ林	日野郡	日南町	日野川沿い山地基幹斜面	自然林, 貴重な個体群	暖温帯夏緑 広葉高木林	1
8	2	日谷神社社叢	日野郡	日南町	日南町笠木共栄丘陵	植栽	暖温帯常緑 広葉高木林	1
9	2	下阿毘縁神社社叢	日野郡	日南町	印賀川上流 下阿毘縁解脱寺 西側	自然林, 貴重な個体群	冷温帯常緑 針葉高木林	1
10	2	砥波神社のクリ・コナラ林	日野郡	日南町	日南町下阿毘塚解脱寺西隣	貴重な個体群	冷温帯常緑 広葉高木林	1
11	2	大木屋神社社叢	西伯郡	南部町 (旧西伯町)	法勝寺川上流 西伯町最南端 集落	郷土景観	暖温帯常緑 広葉高木林	0.7
12	2	大山の中腹自然林	西伯郡	大山町	大山環状道路上部	自然林	冷温帯夏緑 広葉高木林	不明
13	2	長田神社社叢	西伯郡	南部町 (旧西伯町)	西伯町馬場法勝寺川沿い丘陵	自然林, 郷土景観, 貴重な 個体群	暖温帯常緑 広葉高木林	3
14	2	大宮神社のモミ林	日野郡	日南町	日南町印賀大宮山脚	自然林, 貴重な個体群	冷温帯常緑 針葉高木林	0.4
15	3	黒坂のキシツツジ群落	日野郡	日野町	日野川中流域黒坂付近	特殊立地, 貴重な個体群	冷温帯夏緑 広葉低木林	不明
16	3	金華山熊野神社社叢	西伯郡	南部町 (旧西伯町) 八金	金華山の中腹～上部付近	郷土景観	暖温帯植生	1

\*)選定回次: 2」は第2回、3」は第3回の自然環境保全基礎調査を示す。

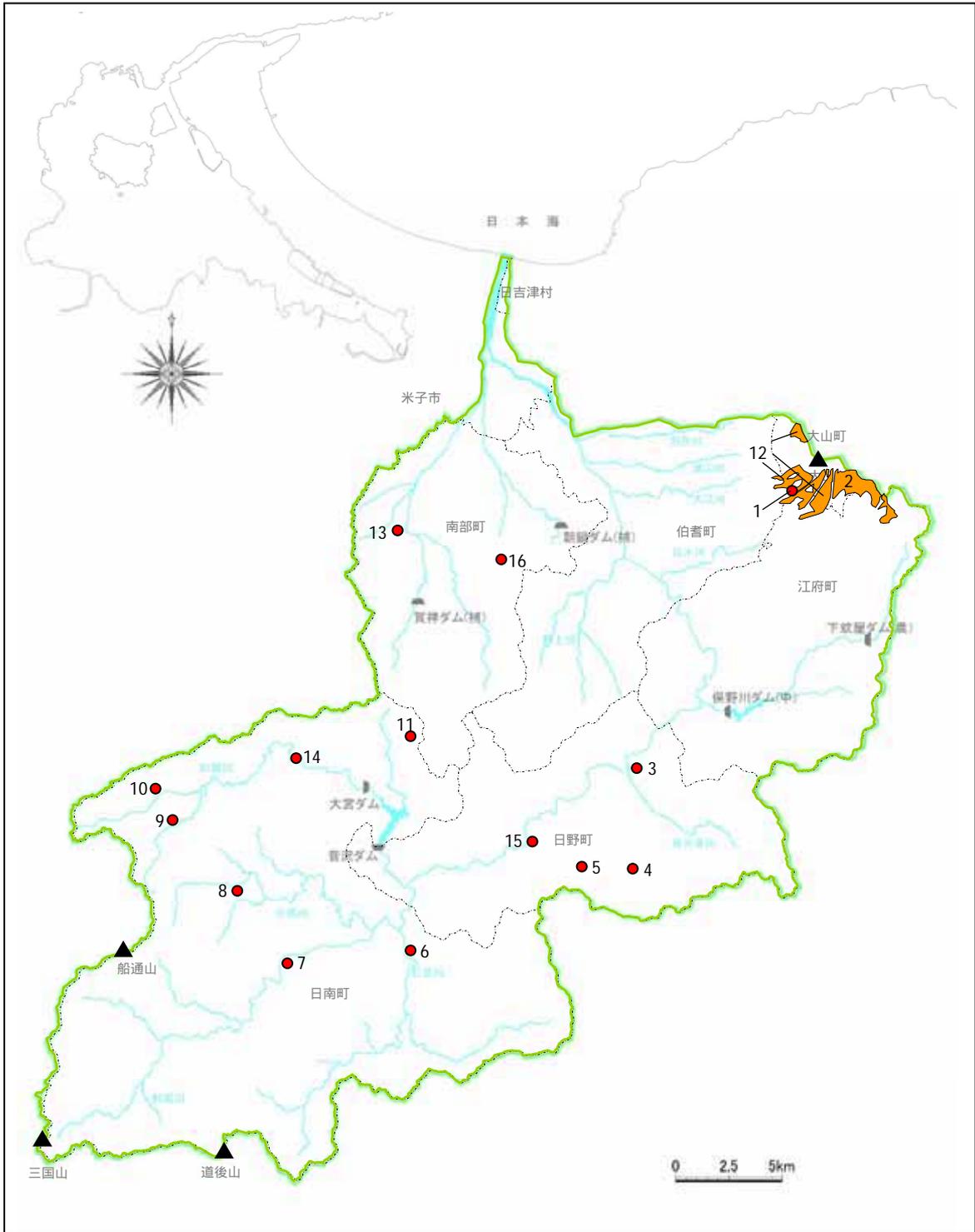


図 2.2.1 特定植物群落位置図

## 2.3 特徴的な河川景観や文化財

### 2.3.1 日野川を特徴付ける場所

中国山地に発してその大部分が山地を流れる日野川は、自然豊かな渓谷美を形成するとともに多種多様な動植物が生息・生育する河川である。日野川を特徴づける場所（日野川らしさを代表する場所）として、以下の場所を抽出した。

表 2.3.1 日野川を特徴付ける場所一覧表

日野川を特徴づける場所 (日野川らしさを代表する場所)	内 容
<b>【下流部】</b> 皆生海岸 利用者の多い高水敷 瀬、淵、水際植生	白砂青松の美しい景観、にぎわう海水浴場、皆生温泉等は多くの人々の癒しの場となっている。 皆生海岸・日野川を利用したトライアスロン大会は、日本で最初に行われたトライアスロン大会で毎年7月に行われ、多くの人々で賑わう。 各種スポーツが楽しめる多目的運動公園が整備されている。 車尾床止下流の瀬は、アユの産卵場となっている。
<b>【中流部】</b> 特異な河川景観	東部には中国地方随一の秀峰である大山を望み、四季折々の美しい景観、スキー場・ゴルフ場等のレジャー施設に年間を通じて数多くの人々が来訪する。
<b>【上流部】</b> 穿入蛇行景観 溪流景観	石霞溪や寝覚峽などの穿入蛇行の変化に富んだ河川景観が見られ、川岸の露岩地には日野川を特徴づけるキシツツジが点在する。 河畔林が水面を覆うように生育する、美しい溪流景観を呈する。比婆道後帝釈国定公園の船通山のイチイの大木や、比婆山のブナの原生林は貴重な植物景観となっている。

### 2.3.2 特徴的な河川景観

日野川上流部は、水しぶきを上げて流れる溪流景観を呈する区間が多く、ヤマメ等の溪流魚が生息しており河畔林が水面を覆うように生育している。

奥日野県立自然公園の中核をなす景勝地である石霞溪<sup>せつかげい</sup>や寝覚峽<sup>ねざめきょう</sup>などがあり、日野川とその支流石見川の合流点から南北に伸びる深い渓谷である石霞溪は、花崗岩の巨岩が露出する断崖や急流が岩を穿つ河床など変化に富んでおり、アカマツを主とする植生が調和して渓谷美を形成している。また、山麓の緑と日野川の水面がほどよく調和した流れとなっており、初夏には鮮やかなピンク色のキシツツジの群生が見られる穿入蛇行を見せる区間では奇岩が変化に富んだ河川景観を見せている。

その他、約 600m にわたって滝や瀬・淵が続く「かまこしき渓谷」、小泉八雲の小説「怪談」に登場し「幽霊滝」として有名な「竜王滝」などがある。

中・下流部は、岸本付近から下流では扇状地性の流れとなり、広々とした河川空間を有し、瀬や淵の発達が見られ、伯耆富士として親しまれている大山が遠景に映えている。砂州上には河道内樹木も繁茂している。

### 2.3.3 文化財

日野川流域内の文化財を表 2.3.2 に示す。

流域内に 38 箇所の文化財が指定されている。

表 2.3.2 日野川流域内の文化財

種別	指定数	備考	
史跡	3	国指定数	2
		県指定数	1
重要文化財	3	国指定数	3
		県指定数	-
天然記念物	16	国指定数	1
		県指定数	15
保護文化財	5	国指定数	-
		県指定数	5
特別天然記念物	2	国指定数	2
		県指定数	-
無形民俗文化財	5	国指定数	-
		県指定数	5
国登録有形文化財	4	国指定数	4
		県指定数	-

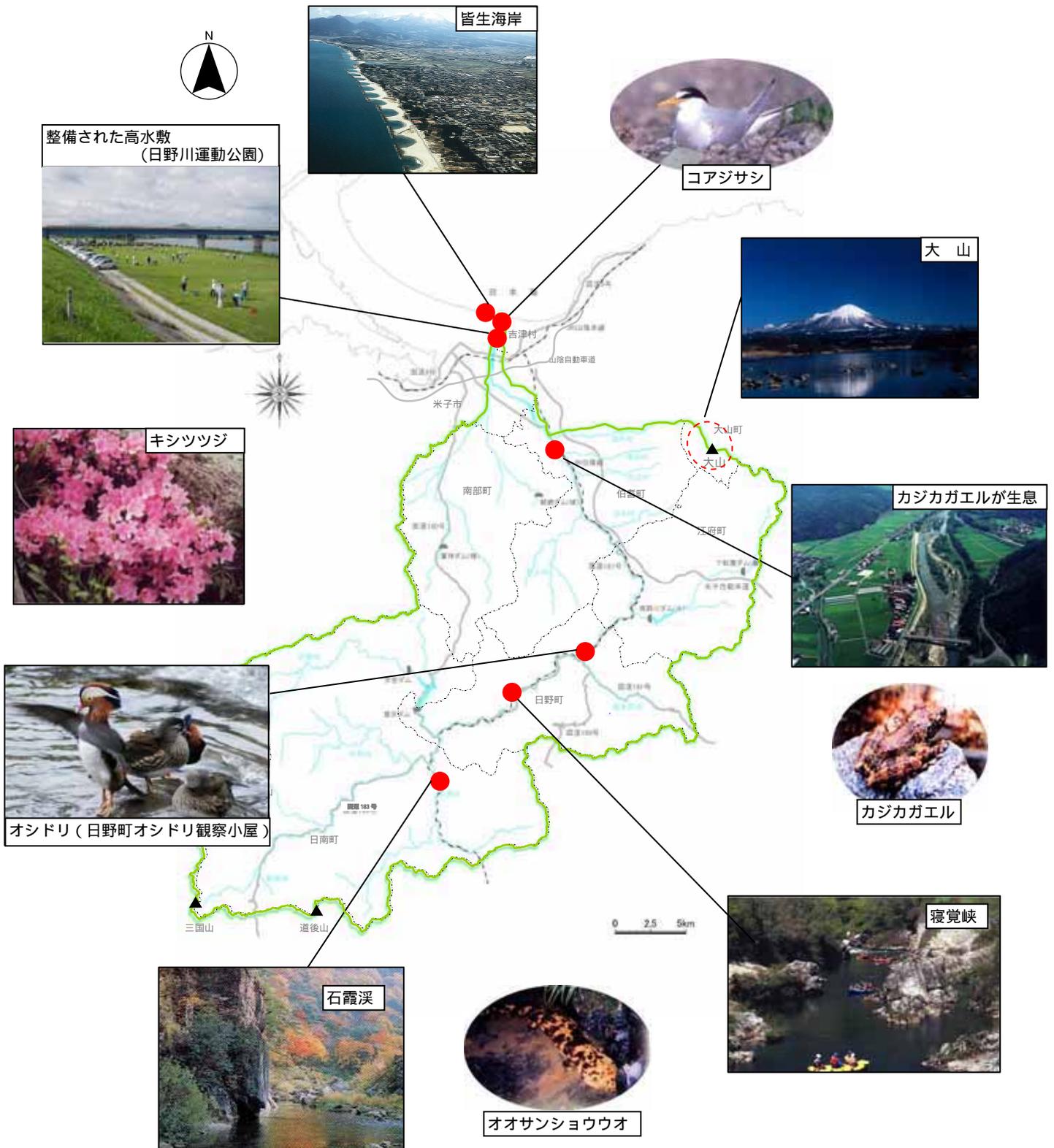


図 2.3.1 日野川を特徴付ける河川景観位置図

## 2.4 河川にまつわる歴史・文化

### 2.4.1 日野川流域の文化財・歴史

#### (1) 船通山のイチイ

日野郡日南町船通山の山頂付近にあるイチイの大木は世界最大級の大きさを誇り、国の天然記念物に指定されている。主幹の高さは 5m 程度とさほど高くはないが、その直径は 1m もある。主枝の直径は 25m、面積は 420m<sup>2</sup> 余りに達し、樹齢は 2,000 年と推定されている。国指定の特別天然記念物に指定された当初「イチイ」とされていたが、実際はイチイの変種のイチイ科イチイ属である「キャラボク」が正しい。



写真：鳥取県 HP

#### (2) 大寺廃寺跡

白鳳時代、西伯郡伯耆町大殿（現在福樹寺敷地内）には、巨大寺院「大寺」があった。この大寺跡地からは心礎・仏堂・回廊跡などが発見された。塔の柱を支えるための基礎の役割を果たす心礎（しんそ）は、山陰唯一の三重心である。また、白鳳時代に寺院建築の屋根を飾った火災・厄よけに用いる装飾品である「石製鳴尾（せきせいしび）」は、国の重要文化財にも指定されるなど、全国的に見ても非常に珍しい物が発掘されている。

写真：伯耆町 HP



心礎（しんそ）



石製鳴尾（せきせいしび）

(3) 米子市水道記念館（旧米子市水源地）

米子市に上水道が創設された大正 15 年に、給水ポンプ室として建設された鉄筋コンクリートの建造物。白壁に赤瓦の屋根、そして一部に半円アーチ型の窓が設けられた外観は、まるでロマネスク教会堂のような雰囲気を醸し出している。昭和 45 年ごろにポンプ室としての役割は終えたが、昭和 62 年に水道記念館として生まれ変わり、パネルや上水道関係器具などが展示されている。米子市の水道の歴史を伝える貴重な文化遺産として、平成 13 年に国登録有形文化財に登録された。



写真：米子市 HP

(4) 旧・日野橋

米子市郊外の日野川にかかる旧日野橋は、昭和 4 年に完成した全長約 366m の鉄橋で、6 連の曲弦トラス構造が特徴である。平成 12 年の鳥取県西部地震で被災し、存続が危ぶまれたが、地元市民の強い要望もあり、約 6 年半の改修工事を経て歩行者・二輪車専用の橋として甦った。平成 15 年度には国の登録有形文化財に登録。背後にそびえる大山と調和したその優美な姿は、多くの人の心を魅了している。



写真：伯耆町 HP

## 2.4.2 日野川の行事

日野川では、皆生海岸や下流部の広い空間を利用したスポーツレクリエーションが盛んに行われている。河川は、カヌー大会や鮎釣りなどで利用され、多くの人々に親しまれている。

各種イベントについて、表 2.4.1 にとりまとめる。

### (1) 全日本トライアスロン皆生大会

トライアスロンは、水泳と自転車、マラソンを一人で連続して行う競技であり、ハワイのアイアンマンレースに始まった。日本のトライアスロンは、1981年（昭和56年）皆生温泉60周年記念事業として開催されたのが始まりである。

日本でも人気の競技となり全国でいくつものトライアスロン大会が催されているが、そのほとんどが距離を省略したオリンピックディスタンスのショートタイプである。ロングタイプの大会は、全国で皆生・北海道・宮古島・佐渡の4大会しか行われていない。

ゴール手前の直線200mは、選手以外の者がコースに入り、家族等と共にゴールテープを切るフィニッシャーズストリートも皆生大会のアイディアが全国に広がった。



フィニッシャーズストリート

写真：米子市 HP

### (2) カヌースラローム大会

日野川はカヌースラロームの適地であり、西日本屈指のコースとして知られ、毎年大会が開かれている。県内外から集まった選手たちが、豪快なパドルさばきでカヌーを操り、日野川の激流を漕ぎ下る。

また、選手たちの練習の場として活用されている。



写真：日野町 HP

### (3) 日野川源流かっぱまつり

日南町において、毎年8月に「日野川源流かっぱまつり」(日南の水をまもる会)が開催されている。町内外から200人を超える親子連れらが集まり、河川敷ではバーベキューや鮎の塩焼きなども振舞われ、参加者は思い思いの休日を過ごしている。



写真：日南町 HP

### (4) 江尾十七夜

江府町江尾地内において、毎年8月17日に行われる。伯耆(ほうき)の国江美城(えびじょう)主の蜂塚一門が盂蘭盆十七日の夜、城門を開放し、町民や農民とともに盆の供養と豊年を祈って朝まで無礼講で踊り明かしたという伝統的な祭りであり、500年の歴史を持つ。無形文化財「こだいぢ踊り」、火文字などたくさんの催しが行われ祭りの夜は、水面を幻想的な灯ろうが彩る。地域の出身者はこの日にあわせてふるさとに帰り、十七夜を過ごす。



写真：江府町 HP

表 2.4.1 日野川にまつわる行事

		名称	開催場所	時期	行事内容
日 野 川	1	全日本 トライアスロン 皆生大会	米子市皆生	7月	水泳 3km 自転車 135km マラソン 42.195kmの 3 種目の競技を同一人が連続して行う。選手は 全国から、約 500 人が参加する。
	2	チューリップ マラソン	西伯郡 日吉津村	4月	1km 3km 5km 10kmの 4 コースを子供から大 人まで参加する。
	3	日野川下り イカダレース (休止中)		8月	タイムレース部門、おもしろレース部門に分か れて、車尾堰から河口までのコースをイカダで 下る。
	4	県民スポレク祭 グランドゴルフ米子 市予選	日野川 緑地広場	8月	日野川緑地広場では、月例のグランドゴルフ大 会が開催されている。県民スポレク祭グランド ゴルフ米子市予選が行われる。 参加人員約 300 名
	5	全日本ターゲットパ ードゴルフ大会	日吉津水辺の 楽校	10月	平成 18 年に全国スポレク祭が鳥取県内で開催 され、それ以降全国大会が当地で開催されてい る。 参加人員約 400 人
法 勝 寺 川	6	水無月さん 天万神社夏祭	西伯郡会見町 天万神社	7月	身体を撫でた人形(ひとがた)を川に流すとも に、芽で作った輪をくぐり人々の災難退除と健 康を祈願する。
	7	さくら祭	西伯郡南部町 法勝寺川土手	4月	城山公園・法勝寺川堤防にボンボリを点灯し、 桜見物する。



## 2.5 市民活動

日野川流域では、日野川やその周辺を活動のフィールドとして利用している市民団体が存在している。以下にその活動状況を示す。

### 2.5.1 日野川流域一斉清掃

毎年7月の河川愛護月間に、日野川周辺の市町村や関係機関が共同で「日野川一斉清掃」を実施している。

平成19年7月11日(日)は13団体、約3,000人が参加し、全体で2トントラック4台分のゴミが収集された。



図 2.5.1 日野川一斉清掃の様子



## 2.6 自然公園等の指定状況

### 2.6.1 大山隠岐国立公園（昭和 11 年 2 月 1 日指定 昭和 38 年 4 月 10 日追加指定）

大山隠岐国立公園は、山陰地方に位置し、中国山地の最高峰大山から<sup>ひるぜん</sup>蒜山までの火山を中心とした山岳・高原からなる一帯、海食が著しい外海多島海景観の<sup>とうぜん</sup>島前・<sup>とうご</sup>島後の隠岐島、隆起・沈降海岸景観の島根半島の海岸部及び成層火山と牧草地景観からなる<sup>さんべ</sup>三瓶山一帯の 4 つの地域からなる公園である。日野川流域には、その中の 1 つである大山蒜山地域が流域東部に広がる。

大山は、西方から見ると富士型の美しい形をなしていることから、伯耆富士と呼ばれている。また、逆に東側はで、北壁と呼ばれるアルプス的な岩壁がそそり立っており、女性的な面と男性的な二つの面を持っている。大山は日本海に近くそびえていることから、標高以上に高くみられ、すその原野が美しい山である。

山頂からはナイフエッジの稜線が続いている。主峰の北には<sup>やはすがせん</sup>矢筈ヶ山、<sup>かっただがせん</sup>勝田ヶ山、<sup>かぶとがせん</sup>甲ヶ山の火山群峰が続いている。中腹はブナの原始林に覆われており、新緑紅葉がすばらしく、また、海岸部に多くみられるクロマツが、かなり標高の高いブナの成林がみられるような所で生育しているのが珍しい。山頂には高山植物群落があり、キャラボクの群落が見られる。海に近い島根半島、中海の展望がよい。

<sup>ますみずはら</sup>榊水原、<sup>ごえんざん</sup>豪円山、中の原、上の原の一帯は、西日本第一のスキー場でリフトも多く、九州等の遠方の観光客の利用も多い。また、夏はキャンプが盛んであり、大山<sup>かがみなる</sup>鏡ヶ成には国民休暇村（全国最初）があり、大山の南に続く蒜山は上・中・下蒜山の三峰とそれに続く高原地帯とともにレクリエーションの中心となっている。

### 2.6.2 比婆道後帝釈国定公園（昭和 38 年 7 月 24 日指定）

中国山脈のほぼ中央に位置する船通、道後、比婆、吾妻などの山々に、その南の帝釈峽を加えた公園である。道後山や吾妻山の高原部は中国地方の数少ないスキー場になっており、全体として利用性の高い公園となっている。

### 2.6.3 奥日野県立自然公園（昭和 39 年 6 月 1 日指定 平成 6 年 12 月 1 日追加指定）

この公園は、日野郡日野町、日南町の日野川水系を基幹として日野町の<sup>ことうやま</sup>古峠山、塔ノ峰、鵜ノ池、黒坂滝山、日野川溪流、日南町の<sup>せつかげい</sup>石霞溪、菅沢ダム、花見山などを含む約 5,000ha の景勝地である。

中国山地の秀峰、清流日野川が流れる山懐に広がり、滝山公園・鵜ノ池公園など大自然を満喫できる景勝地、名所が複数点在する公園である。



図 2.6.1 日野川流域の自然公園等位置図